

1. 景観の保全と創造

Table with 5 columns: 主な環境指標, 進捗 (基準値, 直近値), 評価 (目標値, 達成状況). Rows include 小庭(エリア)の整備着手数, 歴史的景観保存地区内の無電柱化延長, 市街地等幹線道路の無電柱化率.

【直近値における達成状況】(以降の環境指標についても同様)
◎: 目標値を達成 ○: 基準値から前進 ▲: 基準値から後退、又は変化なし

①「なら四季彩の庭」づくり 重点

○奈良県植栽計画の推進
⇒【シンボルマークの設置エリア(箇所): ⑳～㉓ 24(㉒～㉓ 44)】



⇒情報誌(ジャーナル)の発行(年2回)

②歴史的景観の保全と活用

○奈良公園周辺の魅力向上・環境改善
⇒奈良公園バスターミナルの供用開始など



○歴史的風土特別保存地区内の土地買入・管理
【土地の買入れ面積累計: ㉒ 433ha ㉓ 447ha】

③田園・里山景観の形成と活用

○耕作放棄地の再生・活用
⇒【耕作放棄地再生利用面積累計: ㉒ 31.7ha ㉓ 47.1ha】

④都市景観の創造 重点

○幹線道路の屋外広告物対策
⇒【掲出禁止交差点周辺における不適格な屋外広告物数: ㉒ 47件 ㉓ 31件】

○奈良モデルによる沿道景観づくり
⇒㉒県と沿道5市町で、「中和幹線沿道景観協議会」を設置
㉓「中和幹線沿道の屋外景観 向上に関する協定書」を締結

⑤自然景観の保全と再生

○新たな森林環境管理体制導入の推進
⇒「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」策定(R2.3)

○施業放置林における強度間伐の実施
⇒【強度間伐面積累計: ㉒ 7,510ha ㉓ 10,292ha】

主な課題

◇「なら四季彩の庭」づくり
小庭(エリア)の整備着手数は着実に増加。県内全エリアにおいて、四季を通じて彩り豊かな植栽景観の向上に向け、更なる植栽計画(「なら四季彩の庭」づくり)の推進が必要。

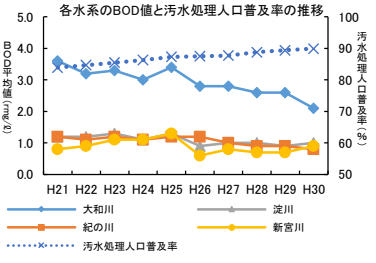
◇都市景観の創造
条例に基づく幹線道路の屋外広告物対策等により不適格な屋外広告物の減少がみられるが、依然として不適格な屋外広告物が存在。おもてなしの心あふれる奈良らしい美しい都市・沿道景観を創出するため、引き続き屋外広告物対策など沿道及び主要鉄道駅付近の景観づくりの推進が必要。

2. 清流の保全と復活

Table with 6 columns: 主な環境指標, 進捗 (基準値, 直近値), 評価 (目標値, 達成状況). Rows include 大和川水系, 淀川水系, 紀の川水系, 新宮川水系.

①水質の維持・改善 重点

○生活排水対策の推進
⇒公共下水道の整備・接続促進
⇒合併浄化槽の整備・適正な維持管理の促進
【污水处理人口普及率: ㉒ 87.5% ㉓ 89.9%】



○大和川の水質改善
⇒公共下水道の整備・接続促進
【大和川水系の下水道普及率: ㉒ 82.3% ㉓ 85.0%】
⇒合併浄化槽の整備・適正な維持管理の促進
【単独浄化槽数(大和川流域23市町村): ㉒ 67,467基 ㉓ 62,823基】
【法定検査の受検率(大和川流域): ㉒ 10.6% ㉓ 12.3%】
⇒重点対策支川の対策促進
「大和川重点対策支川部会」の設置・運営
(㉒～大和高田・広陵エリア、㉓～大和郡山・斑鳩・安堵エリア)
⇒「水質の見える化」による啓発 など

②水量の確保と保水力の維持・向上

○森林の保水力機能の維持・回復
⇒施業放置林・環境保全林の整備促進
⇒スライス型森林管理の推進(再掲 1-⑤自然環境の保全と再生 参照)
○都市・農村における保水力の向上
⇒ため池の多面的機能の活用(県補助)
【ため池利用による治水対策量累計: ㉒ 1,278,707m³ ㉓ 1,364,424m³】
⇒環境用水の導入検討・促進
・菰川(奈良市内)の環境導水【BOD値: ㉒ 9.1mg/l ㉓ 3.5mg/l】
・菩提川(奈良市内)の環境導水【BOD値: ㉒ 14mg/l ㉓ 3.5mg/l】

③やすらぎの水辺空間の整備 重点

○環境イベントの実施
⇒大和川一斉清掃、
「奈良県山の日・川の日、山と川の月間」関連イベントなど



主な課題

◇水質の維持・改善
大和川水系において、環境基準達成率100%を達成するなど、水質が改善傾向にあるものの、他府県の河川に比べ低位。引き続き合併浄化槽の整備や適正な維持管理を行う等の生活排水対策が必要。

◇やすらぎの水辺空間の整備
雑草や雑木が生い茂っているなど景観的な魅力が乏しい箇所が存在。植栽計画に基づく整備や関連イベントを通じて、景観の維持・向上とともに、水辺に親しめる親水空間の形成が必要。

3. 低炭素社会の実現

Table with 5 columns: 主な環境指標, 進捗 (基準値, 直近値), 評価 (目標値, 達成状況). Row: 温室効果ガス排出削減率(%).

①温室効果ガスの排出削減

○省エネ・節電等の推進
⇒「奈良の省エネスタイル」の推進
【県内の電力使用量低減率(㉒年度比): ㉒ 2.5%低減 ㉓ 6.6%低減】
目標値3.5%低減を達成
⇒【県内電力使用量低減率(㉒年度比)3.5%の維持を目標
⇒奈良県庁ストップ温暖化実行計画(第4次H28～R2)の推進
【奈良県庁における温室効果ガス排出量削減率: ㉒ 3.2% ㉓ 17.3%減】
目標値16%減を達成

○再生可能エネルギーの活用
⇒小水力発電施設整備の促進(県補助)
【導入実績: ㉒ 葛城市水道局、㉓ 東吉野小水力発電(株)】
⇒家庭・事業所等の自立分散型エネルギーの導入促進
住宅等での太陽光発電設備の導入と併せた蓄電池の設置等を支援
【県補助件数累計: ㉒ 445件 ㉓ 1,944件】

○自動車等の移動発生源対策
⇒エコカーの導入促進
【県公用車570台中87台がエコカー(R1.10末時点)】
⇒電気自動車等の普及促進
【経路充電(長距離移動での電欠回避のための充電): ㉓ 102箇所(125基)】
【目的地充電(滞在先での駐車時間を活用した充電): ㉓ 113箇所(145基)】
⇒交通円滑化対策の推進
周遊観光バス「ぐるっとバス」の運行、パークアンドライドの実施

②二酸化炭素吸収源の整備

○健全な森林の整備
⇒施業放置林・環境保全林の整備促進(再掲 1-⑤自然環境の保全と再生 参照)
⇒公共施設等の木質化の促進、公共事業への間伐材等の利用促進



⇒森林管理の基盤となる林道整備の推進
【林道開設延長累計: ㉒ 1,335,695m ㉓ 1,339,223m】

○保安林等の適正な管理と保全
【水源かん養保安林面積: ㉒ 63,243ha ㉓ 63,708ha】

主な課題

◇温室効果ガスの排出削減
温室効果ガス排出削減率は、現時点で目標未達成。県全体で省エネの取組等が促進されるよう、啓発活動や率先活動を推進していくことが必要。

◇顕在化する地球温暖化への適応
国内外で異常気象が頻発し、本県でも気温上昇など気候変動影響が現れてきている。㉓気候変動適応法施行に伴い、今後の気候変動適応に向け、県の既存施策の整理、適応策の検討が必要。

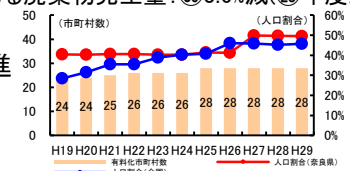
4. 循環型社会の構築

Table with 5 columns: Main Environmental Indicator, Progress (Baseline, Recent, Target), and Evaluation (Status). Rows include waste per person and recycling rate.

※H30.3策定の奈良県廃棄物処理計画により目標値が変更

①廃棄物の排出抑制の促進

○事業者の自主的取組の促進(排出抑制・減量化)
⇒県庁舎における環境マネジメントシステムの推進
【奈良県庁ストップ温暖化実行計画による廃棄物発生量:③0.3.6%減(25年度比)】
○ごみの排出抑制のための経済的手法の導入促進
⇒ごみ処理有料化の促進



②廃棄物の循環的利用の促進

○各種リユース・リサイクルの促進
⇒奈良県リサイクル認定製品の普及拡大【認定製品数:②6 126 ③0 152】
○廃棄物系バイオマスの有効利用の促進
⇒エコフィード(食品残渣)利用促進 など

③廃棄物の適正処理の推進

○優良処理業者の育成
⇒優良産業廃棄物処理業者認定制度の普及促進【認定件数 ②6 115件 ③0 203件】
○有害廃棄物の適正処理の推進
⇒PCB汚染廃電機機器の計画的処理の促進【高濃度PCB 廃棄物の適正処理実施率: ②6 76.7% ③0 94.9%】

④廃棄物の不法投棄・不適正処理の撲滅

○使用済家電等の不適正処理対策の推進
⇒奈良県使用済家電等対策連絡会による対策推進【使用済家電の不法投棄発生台数: ②6 586 ②9 454】
○不法投棄の撲滅に向けた啓発の推進
⇒「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーン
「不法投棄ゼロ作戦」推進大会の実施(①7~②9)※②3は中止
⇒環境パトロール・「環境の日」街頭キャンペーン
クリーンアップならキャンペーンの実施 など



⑤災害廃棄物処理対策の推進

⇒「奈良県災害廃棄物処理計画(H28.3策定)」に基づき、
②8「奈良県災害廃棄物連絡会」を設置し、②9「奈良県災害廃棄物処理緊急支援要員」を任命するなど、大規模災害に備えた体制整備を推進
②8~災害廃棄物に特化した県・市町村合同による教育・訓練を継続的に実施

⑥県・市町村の連携・協働(奈良モデル)による施策推進

○ごみ処理広域化の促進
⇒②8「奈良モデル」補助金制度を創設・施行
②9「やまと広域環境衛生事務組合」において新たな広域施設が竣工するなど、
②725施設→⑤15施設を目標に広域化を推進。

主な課題

◇廃棄物の排出抑制・循環的利用の促進
一般廃棄物のリサイクル率は目標に向け改善傾向にあるものの、全国平均(②920.2%)より低い状況。引き続き、排出抑制及び3R等を推進していくことが必要。
◇廃棄物の不法投棄・不適正処理の撲滅
使用済家電など廃棄物の不法投棄は依然として解消されておらず、不法投棄防止に向けた監視体制や啓発活動を継続していくことが必要。

5. 安全な生活環境の確保

Table with 5 columns: Main Environmental Indicator, Progress (Baseline, Recent, Target), and Evaluation (Status). Rows include air quality indicators like SO2, NO2, CO, SPM, O3, and PM2.5.

※光化学オキシダント(Ox)の環境基準は、全国的には達成困難な状況

①大気環境の保全対策

○大気汚染物質対策
⇒大気汚染物質の常時監視(上記「主な環境指標」参照)
○光化学オキシダント及び微小粒子状物質(PM2.5)対策
⇒光化学スモッグ注意報等の迅速な対応
「奈良県光化学スモッグ緊急対策要領」を定め、光化学オキシダント濃度の基準値を超えた場合は直ちに県関係機関、市町村、報道機関等に通知
⇒PM2.5対策
常時監視を実施。国策定の指針に基づき、PM2.5が高濃度となる異常時に注意喚起を発令 ※これまでに発令事例はなし
○酸性雨対策
⇒酸性雨モニタリング調査【雨水のpH年平均値: ②6 4.91 ③0 5.10】

②生活環境の保全対策

○化学物質対策
⇒ダイオキシン類のモニタリング調査(上記「主な環境指標」参照)
⇒環境ホルモンのモニタリング調査
【①4~③0まで、代表的な3物質(ノルフェノール、4-n-オクチルフェノール、4-ter-オクチルフェノール)は全調査地点(3~4箇所)で不検出】
⇒アスベスト対策
大気汚染防止法に基づく届出のあったアスベスト除却作業現場に対し、労働基準監督署と連携して立ち入り検査を実施
【立ち入り検査件数: ②6 18件 ②7 33件 ②8 24件 ②9 30件 ③0 48件】
○騒音対策
⇒自動車騒音の常時監視
【環境基準達成率: ②6 100% ②7 97.7% ②8 99.5% ②9 100% ③0 100%】

③放射線モニタリングの実施

⇒放射線量の常時監視(県内4箇所)を実施。測定結果は国・県のHPで公表

④環境保全の基盤的スキームの推進

○環境影響評価制度の推進
⇒環境影響評価の実施【②8採石場(大淀町内)、廃棄物最終処分場(御所市内)評価完了 ③1砕石場(御所市内)評価完了 など】
○環境に関する調査研究の推進
⇒公設試験研究機関等における調査研究 など

主な課題

◇大気環境の保全対策
大気汚染物質について、光化学オキシダントを除き環境基準を達成。光化学オキシダント及び微小粒子状物質(PM2.5)については、今後も引き続き常時監視及び注意喚起を行う体制を継続することが必要。

6. 生物多様性の保全

Table with 5 columns: Main Environmental Indicator, Progress (Baseline, Recent, Target), and Evaluation (Status). Row includes specific species index.

①生物多様性の保全と再生

○重要地域の保全
⇒県希少野生動物保護条例等による規制・指導、普及啓発
【保護管理事業計画の策定: ③0ヒメタイコウチ、カツラギグミなど】
⇒生物多様性に配慮した鳥獣保護区の指定【鳥獣保護区: ③021地区(38,548ha)】
○野生動物の保護と管理
⇒天然記念物の保護(特別天然記念物カモシカによる食害対策など)
⇒地域と連携した外来種防除の推進【アライグマ捕獲数: ②6 1,419 ③0 2,008】
⇒②8「奈良県野生生物目録」作成、「奈良県レッドリスト・レッドデータブック」改訂



②生態系サービスの持続可能な利用

○農林水産業における取り組み
⇒環境に優しい農業に取り組むエコファーマー認定の推進【エコファーマー認証者: ②6 866人 ③0 907人】
⇒カワウの個体数調整及び防除対策【水産被害量: ②6 15.6t ③0 9.3t】

主な課題

◇生物多様性の保全
外来種防除など着実に進捗がみられたが、特定希少野生動物の指定数については目標未達成。今後も引き続き、生物多様性なら戦略を推進し、県内における生物多様性を保全していくことが必要。

7. 人づくり・地域づくりの推進

①環境を学ぶ機会づくり

○環境教育・環境学習の推進
⇒森林環境教育の推進
県内の全公立小学校(196校)で森林環境体験学習を実施
⇒ストップ温暖化推進員の養成
【ストップ温暖化推進員委嘱者数 ②6 177名 ③0 191名】
⇒関連イベントの開催
「奈良県山の日・川の日、山と川の月間」関連イベント(再掲) など

②環境への取り組みを通じた「地域づくり」の推進

○きれいに暮らす奈良県スタイルの推進
⇒②8「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」を設立
⇒②9~
・「きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル」を発刊
・重点プロジェクトの「大和川のきれいな化」、「奈良らしい景観づくり」の推進にあたり、「大和川重点対策支川部会」、「中和幹線沿道景観部会」を設置
・「実践団体部会」を設置し、各団体の活動事例等を情報共有を図るとともに、各部会へ更なる参画連携・協働を促進



○関係団体等の自主的・主体的な活動の促進
⇒奈良県環境県民フォーラムの活動促進
「エネルギー」、「エコライフ」、「資源活用」、「自然環境」の4つの分科会活動等を通じた普及啓発活動(環境にやさしい買い物キャンペーンなど)を実施
⇒「なら生物多様性保全ネットワーク」の活動促進
【なら生物多様性保全ネットワーク参画団体数: ②6 79 団体 ③0 87 団体】

主な課題

◇環境への取り組みを通じた「地域づくり」の推進
魅力ある地域づくりを実現するため、きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会など様々な団体と連携・協働した環境保全への取組を推進していくことが必要。

1. 景観の保全と創造

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価	
		基準値 H26(2014)	直近値 H30(2018)	目標値 R2(2020)	達成状況
歴史文化交流拠点としての奈良県の魅力度を評価する指標として活用	小庭(エリア)の整備着手数(エリア)	36	51	54	○
	観光入込客数(万人)	3,811	4,420 (H29(2017))	5,000 (R1(2019))	○
	歴史的景観保存地区内の無電柱化延長(km)	4.4	4.7	4.8	○
	里山における森林整備の実施箇所数(箇所)	196	285	320	○
里山の景観を守る取り組みを評価する指標として活用	都市計画区域内人口1人あたりの都市公園面積(m ² /人)	12.7	13.49 (H29(2017))	13.6	○
都市景観の向上を評価する指標として活用	市街地等幹線道路の無電柱化率(%)	8	10.2	12 (R1(2019))	○
	景観づくりのルールを締結する地区等の数(地区)	155	179	179	◎
	馬見丘陵公園花サポーター(花緑ボランティア)登録者数(人/年)	35	40	50	○
	県土に占める自然公園面積の割合(%)	17.2	17.2	17.2	◎

2. 清流の保全と復活

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価		
		基準値 H26(2014)	直近値 H30(2018)	目標値 R2(2020)	達成状況	
清らかで安全な水環境を評価する指標として活用	水系毎の環境基準達成率(%) (達成箇所数/測定箇所数)	大和川水系	85.7 (18/21)	100 (21/21)	100	◎
		淀川水系	85.7 (24/28)	64.3 (18/28)	100	◎
		紀の川水系	80.0 (4/5)	100 (5/5)	100	◎
		新宮川水系	100 (10/10)	100 (9/9)	100	◎
生活排水対策の進捗を評価する指標として活用	汚水処理人口普及率(%)	87.5	89.9	91.2	○	
	下水汚泥エネルギー化率(%)	21	21	38 (H31(R1))	○	
水源の保水能力を評価する指標として活用	水源かん養保安林の面積(%)	63,243	63,708	67,334	○	

3. 低炭素社会の実現

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価	
		基準値 H26(2014)	直近値 H30(2018)	目標値 R2(2020)	達成状況
温室効果ガスの削減対策の進捗を評価する指標として活用	温室効果ガス排出削減率(%) [基準年:H25]	0.1%増	11.9%減 (H29(2017))	30.9%減 (R12(2030))	○
	森林環境教育指導者養成研修受講者数(人)	2,895	4,397	4,500	○
	ストップ温暖化推進員の委嘱者数(人)	177	191	250	○
省エネ・節電の取り組みの進捗を評価する指標として活用	年間電力使用量低減率(%) (基準年:H26)	-	6.6	3.5%を維持 (R3(2021))	◎
再生可能エネルギー導入の進捗を評価する指標として活用	再生可能エネルギー導入量(kW)	240,954	497,660	584,000 (R3(2021))	○
	木質バイオマスエネルギー利用量(t)	18,729	98,992	45,000	◎
二酸化炭素吸収源となる森林整備の進捗を評価する指標として活用	施業放置林における強度間伐の面積(ha)	7,510	10,292	12,000	○
	県民等の募金による植樹の本数(本)	8,197	10,238	10,000	◎

4. 循環型社会の構築

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価		
		基準値 H25(2013)	直近値 H29(2017)	目標値 R4(2022)	達成状況	
ごみの減量化を評価する指標として活用	ごみの排出量	一人1日あたりのごみの排出量(一廃) (g/人・日)	918	909	865	○
		産業廃棄物排出量(千t)	1,539 (H22(2010))	1,474 (H27(2015))	1,430	○
	リサイクル率	一般廃棄物(%)	13.1	16.3	23.0	○
		産業廃棄物(%)	48.3 (H22(2010))	42.1 (H27(2015))	42.1	▲

5. 安全な生活環境の確保

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価		
		基準値 H26(2014)	直近値 H30(2018)	目標値 R2(2020)	達成状況	
きれいな大気が保たれているかを評価する指標として活用	大気環境基準達成率(%) (達成箇所数/測定箇所数)	二酸化硫黄(SO ₂)	100 (11/11)	100 (11/11)	100	◎
		二酸化窒素(NO ₂)	100 (12/12)	100 (12/12)	100	◎
		一酸化炭素(CO)	100 (5/5)	100 (5/5)	100	◎
		浮遊粒子状物質(SPM)	100 (15/15)	100 (14/14)	100	◎
		光化学オキシダント(Ox)	0 (0/8)	0 (0/8)	測定数値に対する迅速な対応、情報提供を行う	▲
		微小粒子状物質(PM2.5)	33.3 (1/3)	100 (9/9)	100	◎
		ダイオキシン類の環境基準達成率(%)	100 (9/9)	100 (8/8)	100	◎
生活環境の保全対策の状況を評価する指標として活用	高濃度PCB廃棄物の適正処理実施率(%)	76.7 登録台数 2,167台 処理台数 1,662台	94.9 登録台数 2,331台 処理台数 2,212台	100	○	
	公害苦情件数(騒音、振動、悪臭等)(件)	147	161 (H29(2017))	件数の減	▲	

6. 生物多様性の保全

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価	
		基準値 H26(2014)	直近値 H30(2018)	目標値 R2(2020)	達成状況
希少な野生動植物の保護管理の状況を評価する指標として活用	県内の野生動植物種に占める希少野生動植物種の割合(%)	12	14	12	▲
	特定希少野生動植物の指定数(種)	12	12	20	▲
生物多様性保全の取り組みを評価する指標として活用	環境にやさしい農業シンボルマーク認証団体数(団体)	42	49	60	○
	エコファーマーのべ認証者数(人)	866	907	1,000	○
	「なら生物多様性ネットワーク」参画団体数(団体)	79	87	90	○

7. 人づくり・地域づくりの推進

指標設定の趣旨	環境指標	進捗		評価	
		基準値 H26(2014)	直近値 H30(2018)	目標値 R2(2020)	達成状況
人材育成の取り組みを評価する指標として活用	森林環境教育指導者養成研修受講者数(人)	2,895	4,397	4,500	○
	森林環境教育を実施している公立小学校の割合(%)	100	100	100	◎
	馬見丘陵公園花サポーター(花緑ボランティア)登録者数(人/年)	35	40	100	○
歴史文化交流拠点としての奈良県の魅力度を評価する指標として活用	ストップ温暖化推進員の委嘱者数(人)	177	191	250	○
	観光入込客数(万人)	3,811	4,420 (H29(2017))	5,000 (R1(2019))	◎
県民・事業者・行政の積極的な取組と連携・協働を評価する指標として活用	景観づくり活動を実施している景観サポーター数(人)	36	46	50	○
	環境の保全を図る活動に取り組むNPO法人数(団体)	177	174	200	▲
	環境をテーマにしたビジネスモデル認定件数(件)	70	75	82	○
	温暖化防止実行計画を策定した市町村の割合(%)	49	54 (H29(2017))	100	○

【直近値における達成状況】
 ◎: 目標値を達成
 ○: 基準値から前進
 ▲: 基準値から後退、又は変化なし

※個別計画の見直し等により目標値の変更があった場合、変更後の目標値を記載しています。